

日数を数える

月の日数

日数を数えるには、各月の日数を覚える必要があります。それは次の表のようになっています。

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
日数	31	28(29)	31	30	31	30	31	31	30	31	30	31

日数が 31 日に満たない月を覚える方法として有名なものが、「にしむくさむらい」です。

表を見ると、31 日ない月は 2 月、4 月、6 月、9 月、11 月ですが、これを漢字で書いたもの

二 四 六 九 十一

を、さらに十一を縦に書いて士（さむらい）と読むことで、

二 四 六 九 士

に し む く さむらい

としたものです。

これ以外にも、手を使って覚える方法などがあります。方法は何でもいいので正確に覚えましょう。

そして、31 日ない月はすべて 30 日かというとはそうではなく、2 月だけ 28 日（うるう年では 29 日）ですから、ここまできちんと覚えてください。

うるう年

2 月だけはうるう年によって日数が変わるということは、月の日数だけでなく、うるう年かどうか分からないといけないうことになります。

うるう年の判定では、次のような事を調べます。

- ・ 基本的に 4 の倍数の年はうるう年
- ・ ただし、100 の倍数のときはうるう年ではない
- ・ ただし、400 の倍数だったらうるう年

例を挙げれば、

例 1 1994 年は 4 の倍数ではないので（下二けた 94 が 4 の倍数ではないので）、うるう年ではありません。

例 2 2004 年は 4 の倍数なので、うるう年です。

例 3 1900 年は 100 の倍数なので、うるう年ではありません。

例 4 2000 年は 400 の倍数なので、うるう年です。

つまり、下二けたが 00 のときだけ、続きを調べてみればよいということです。そうなっていない年は、4 の倍数かどうかだけで決まります。

「西暦 2000 年はもう過ぎたから細かいこと覚えなくてもいいよ」と思うかもしれませんが、私が見た限りでは西暦 3000 年までの日付を考える問題があったので、これも正確に覚えておきましょう。

例題：日数を数える

いよいよ本題です。

「2010年1月5日から、同年6月2日まで何日ありますか」と聞かれたとします。（開始の日と終わりの日の両方とも含めた日数を数えます。）

月ごとに日数を数えてみると、

6月は2日

5月は31日 全部

4月は30日 全部

3月は31日 全部

2月はこの年がうるう年ではないので 28日 全部

1月は5日から31日までが 27日

これを合計して、149日 となります。

ポイントとなるのは（間違える人が多いのは）、1月の日数です。 $31 - 5 = 26$ としてしまう人が非常に多いです。考え方としては、5日から数えるということはつまり、**1日から4日までは数えない**ということですから、31日あるうち4日いらないので、 $31 - 4 = 27$ 日となります。日付は、その月の1日から何日あるかを数えたものといえるので（1日から14日までだったら、そのまま14日ありますね）、月の残りの日数を数えるときは、このようにして、いない日数を数えて全体から引く方法がおすすめです。（わけもわからず、引き算した答えに+1すればいいとかいう覚え方はやめたほうがいいです。いざというときに迷います。）

例題：日数から日付を求める

もう一つの例題は、「2010年4月12日から50日後は何月何日ですか」というものです。

大事な点は、4月12日から数えた50日間の**最後の日ではなく、50日たつと何日なのか**が聞かれていることです。

この、〇〇日後という言い方がこの手の問題をさらにややこしくしています。

簡単に確認してみると、4月12日から1日たつと4月13日ですし、2日たてば4月14日です。

また、4月12日から4月13日までで2日間あり、14日までなら3日ありますから、開始の日から〇〇日たつと、開始の日から終わりの日まで〇〇+1日あるということになりそうです。

つまりさっきの例でこの問題を言い換えると、

「4月12日から 月 日まで、51日あります。」

ということを聞いているのと同じになります。

あとは、先ほどの例と同じように、51日になるまで日数を数えていきます。

4月は、（11日までは数えないので） $30 - 11 = 19$ 日あります。あと $51 - 19 = 32$ 日必要です。

5月の31日全部をたしても50日で、あと $51 - 50 = 1$ 日必要です。

6月はのこりの1日なので、求める日付は 6月1日 となります。

以上です。かなりめんどくさい方法で数えています、ひとつひとつ着実にすすめる方法が、この手の問題では必要だと思います。

ドリルの問題では、以上の3点（月の日数、うるう年の判定、〇〇日と〇〇日後の区別）を練習します。